

返送先：北海道反原発連合 FAX 011(351)2378

第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (1/2)

1、今後の日本の原子力政策について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- 直ちに全ての原発を廃炉にする。
- ・安全の確認された原発のみ稼働させ、10~20年以内に原発ゼロを目指す。
 - ・原発の依存度は下げるが、将来的な原発ゼロには反対。
 - ・原発の推進をはかる。
 - ・どれでもない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

電力は足り見通しあり。原発ゼロは多くの世論です。「安全なら再稼働」と言いき、処理できず使用済み核燃料を増やるといいます。核燃料サイクルも破たんしています。福島や近隣の被害をくり返さないためにも「即時原発ゼロ」を訴えます。

2、北海道電力 泊原子力発電所について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- 直ちに廃炉にする。
- ・道内の電力使用状況に合わせ、安全確認を行いながら再稼働させる。
(年以内に廃炉 / 特定の廃炉期日は設けない) ※いずれかを○でお選びください。
 - ・道内の冬の安定した電力供給のため、今すぐ再稼働すべき。
 - ・どれでもない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

津波だけでなく、縦断の~~地震~~大地震が来た場合の安全性は確保していません。再生可能エネルギーの可能性が大きい北海道だからこそ、原発ゼロの道へ先頭に立つべきです。廃炉にしてからの作業や使用済み核燃料の保管などで、立地自治体への雇用や経済の打撃も大きくないと思えます。石炭から撤退した時と同様に、国の責任で支援策も可能でしょう。

3、電源開発による青森県 大間原発の建設再開について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- 直ちに建設を断念すべき。
- ・道南各自治体および北海道への説明をしっかりと行い、慎重に建設の是非を議論すべき。
 - ・建設再開を支持する。
 - ・どれでもない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

地震帯・火山帯にありにに加え、初のフルMOXという危険性の高い原発です。地元への雇用と経済への心配は、国が責任を持って対策を講じるべきです。私は電源開発(株)東京本社へも要請に行きました。建設再開は「国策」と言っている以上、その政策を変えなければなりません。

返送先：北海道反原発連合 FAX 011(351)2378

第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (2/2)

4、幌延町の深地層研究センターについて。高レベル放射性廃棄物の最終処分場の有力候補とされていますが、幌延には稚内から続く活断層もありその危険性が指摘されています。この件についてご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- 断固として認められない。
- ・慎重に安全性の確認を行い、道や自治体と議論の上、受け入れの是非を決めるべき。
- ・幌延町の経済発展にも繋がるので、安全性の確認の上で受け入れるべき。
- ・どれでもない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

幌延は活断層の問題とばかり、地下水が大量に湧き出し、地質も崩れやすい地域です。適切な場所でないときは、日本学術会議も地層処分の見直しを提言しており、認められずせん。

5 (1)、道庁前反原発抗議行動について。私たち北海道反原発連合では、毎週金曜夜に道庁北門前にて反原発抗議行動を行っております。約20回続いていますが、この抗議行動をご存知ですか？また、私たちの行動は原発問題にフォーカスしていますが、市民一人一人が日本の社会の問題に意思表示をすべく行動していることについて、ご意見等ございましたら備考欄にご記入願います。

- 知っている。
- ・知らなかった。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

厳寒のこの時期まで続けられていることは「あつい」の一言に尽きます。私も参加して感じたのは、市民一人ひとりが声をあげることの大切さです。国会論戦とばかり、国民的な議論を深められず環境づくりも、政党・政治家は「両輪」として力尽く可へさと思いました。通行される方への配慮など、支えがスタッフの献心さにも心を打たれています。様々な政党支持や無党派の方も参加してるとは思いますが、「原発ゼロ」の一点を目標として私も連帯してがんばります。

5 (2)、私たちの道庁前抗議行動に参加したいと思いますか？

- 参加したことがある (官邸前 / 道庁前 / その他地域にて)
- ・機会があれば参加したい 13回 追加は1回参加した
- ・考えていない
- ・参加したくない。

お疲れさまでした。ご協力に感謝します。